

松支図書館だより 5月号

平成29年5月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

新年度がスタートし、早1ヶ月が経ちました。新生活を気合いたっぷりでスタートした皆さんは、そろそろ疲れが出てくる頃ではないでしょうか。そんな時はぜひ、図書館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。たくさんの本が、あなたを待っています。松支図書館は、あなたの学校生活を応援します！

【こどもの読書週間4月23日（日）～5月12日（金）が始まっています！】

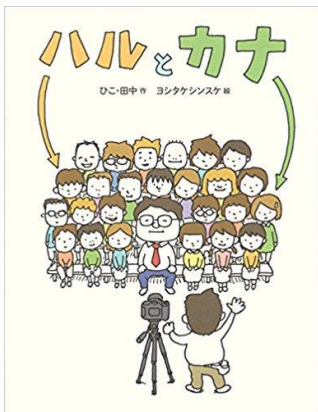
4月24日（月）～4月28日（金）は、校内の読書週間でした。1年生には図書館オリエンテーションを実施し、貸出や返却の方法、本を扱う際のお約束などの話をしました。またその際に、皆さん一人1冊以上本を借りてくれました。これからたくさんの本に親しみ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

☆☆☆小川図書館の本について☆☆☆

図書館中央に小川図書館から借りてきた300冊の本が置いてあります。本校では、学期ごとに300冊の本を借りてきて児童生徒の皆さん、先生方、保護者の方々に貸出を行っています。学校にない本や、興味のある本を集めてきました。児童生徒の皆さん、先生方、保護者の方々もどうぞご利用ください。

○小川図書館から借りた本のご紹介○

【ハルとカナ】ひこ・田中作 ヨシタケシンスケ絵



ハルとカナは、8歳の小学二年生。小学二年生ながらに男女の違いを意識し始め、お互いに淡い恋心を抱きます。でも、相手のどこが好きなのか、いつから好きになったのか考えてみても分かりません。それについてため息をつきながら考えるハル。私はそんなハルを、とてもほほえましく思いました。そして、小学二年生の時ってこんなこと考えていたのかなと、自分の記憶を呼び起こしながら大人でも楽しめる児童書でした。短いお話12章からなり、挿絵は、“もうぬげない”や“りんごかもしれない”で人気のヨシタケシンスケさん。おすすめです。



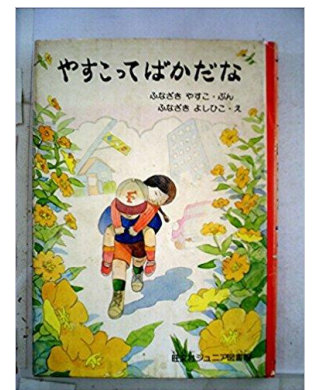
【ほげちゃんといぬのペロ】やぎ たみこ

ほげちゃんシリーズ新作！ぬいぐるみのほげちゃんは、いつもいたずらっ子でやりたい放題し放題・・・のはずが、今回はちょっと違いました。荒々しく叫びながらも、こいぬのペロのお世話に甲斐甲斐しく奮闘します。クスッと笑えて、最後はほんわか温かい絵本です。

「心を豊かにしてくれる本たち」

二週間に一回、必ず市立図書館を訪れ、現在9歳の息子と一緒に約20冊の本を借りて読むという生活を始めてもう二年以上が過ぎようとしています。息子は図書館に通い始めて最初の頃は、伝記物を借りることが多かったのですが、次第に「花子さんがきた」や「都市伝説」などシリーズ物の怖い話ばかり借りるようになりました。読んだ後は、「一人でトイレに行くのが怖いからお母さん、ついて来て!」とか言って怖がるくせに、読むのをやめられない様子です。話の中に「こっくりさん」が出てきたときは、「お母さん、こっくりさんしたことある?」と聞いてきたりするので、「子どもの頃よくしていたよ」と返すと、「へえ・・・」と興味津々の顔つきになり、そこから話が膨らみます。私はというと、健康・美容や料理といった実用的な本を借りることが多いです。料理が趣味なので、新しいレシピに出会ったりするとわくわくし、今度早速作ってみようという気持ちになるのです。他には簡単にできる実験など理科関係の本を借りて、授業の教材研究にも生かしています。息子にとっても私にとっても、本は生活の中でなくてはならないものになっています。

さて、私の子ども時代の記憶をたどると、やはりたくさん本に囲まれて育ってきたことを思い出します。母が、図書館によく連れて行ってくれ、そこで私の興味のある本や紙芝居を借りてくれていました。そのおかげで今の本好きの私があると母に感謝しています。小学生の頃読んだ本の中で、一番好きだったのは「やすこってばかだな」という本です。盲腸になって入院をすることになったやすこという女の子の気持ちに共感し、この本に惹かれました。母が買ってくれたこの本を何度も何度も読み返し、宝物のように大切にしていました。



大人になって読んだ本の中で、印象に残っている本は、「心の安らぎを得る究極のタイムマネジメント」や「速さは全てを解決する」という本です。これらは仕事をする上でも大変役に立っています。自分を変えていくためにはたくさんの本に出会い、そこから他の人の考え方や生き方を吸収し、行動に移していくべきだと自分自身思います。

図書館通いはこれから先も続くと思いますが、目標は借りた本を二週間で全部読み上げるということです。今は期限内に読めなくて一旦返して再度借りるということもたびたびありますので。それから、毎日夜寝る前に、4歳の息子に2~3冊、絵本を読んであげている現在の習慣も続けていきたいと思っています。

最後に、生徒の皆さんにお伝えしたいことは、“本は自分の世界を広げてくれる” “本に触れ、どんどん本を読みましょ” ということです。そのためには、まず図書館に行き、目に留まった本をとりあえず借り、読む、いや見てほしいと思います。そこで何かを少しでも感じてくれたら幸いです。私も長い人生の中で、たくさん本を読み、自分の幅を広げていきたいと思っています。